

日進月歩



伊丹市立天王寺川中学校
第1学年学年通信
令和3年4月30日発行
No.14

○ 生徒の作文を紹介します

前号(N o. 1 2)に引き続き作文を一部紹介します。

小学生の頃、わら史は中学生になるのがとても不安でした。もちろん、楽しみにはしていましたが、不安の方が大きかったです。でも、入学式が終わり、1日1日が過ぎていくにつれて、ホッとしている自分がありました。なぜなら、1年3組はみんな優しく、いつもみんなで笑い合っていたからです。それに、休み時間になると必ず友だちが話しかけてくれたり、困っていると友だちが教えてくれたりして、小学生の頃とあまり変わっていません。なので、小学生のころとは違い、不安はあまり大きくありません。

私は、まだ制服に慣れていません。制服を着るのに少し難しかったりします。でも、初めての制服なので嬉しかったりします。それに、制服と同じように中学校では初めての経験がたくさん私たちを待っています。なので、小学生の時に習ったことを生かして、これからの中学校生活を頑張っていこうと思います。

3組 安井 咲花

○ 部活動について

入部届の締め切りが本日であることを受け、本日の放課後に、緊急事態宣言中の部活動について、各顧問から生徒の皆さんに説明をいたしました。内容は原則5月11日まで練習を実施しないこと、12日からの練習予定についてなど伝えております。ただし、5月11日までの期間において、県の規定に則して大会等に出場できる部活動によっては、練習をする場合がありますのでご了承下さい。

まだどの部活動に入部しようか決めていない生徒につきましては、必ず担任の先生と相談するようにしてください。

○ コロナ関連について

コロナ関係について、学校より通信にていろいろな情報やお願いを発信しております。連休中にコロナに関して「濃厚接触者」に認定された、「PCR検査・抗原検査を受ける」必要が出てきた、家族が濃厚接触者やPCR検査・抗原検査を受ける場合は、必ず学校にご連絡ください。

GW中の連絡先 080-3607-9418

○ 1ヶ月が過ぎて

4月も終わりを迎え、入学して約1ヶ月が経過しようとしています。学校生活において、お互いに声を掛け合って多くのことを協力したり、楽しそうに過ごしたりしている姿を見てとてもホッとしております。また、授業においても積極的に手を挙げて発言をしようとしたり、課題などに一生懸命に取り組もうとしたりしている姿が続いており、このまま卒業まで頑張ってもらいたいと切に願いながら見ております。

しかし、**課題も何個か浮き彫りに成ってきております。1つ目は「忘れ物」です。**以前の通信でもお伝えしましたが、相変わらず忘れ物をする生徒、課題を忘れる生徒が多くいます。そして気になるのが、「とりあえず謝れば済む」という感覚で、教科の先生に報告に行っているよう姿です。結果、何度も忘れ物を繰り返し、その都度謝って終わっている状態です。しかし、以前の詩でも書きましたが「忘れる」ということは「心を亡くす(失う)」ことに繋がると考えています。忘れる度に「やってしまった」「次から気をつけなければ」という気持ちが失われていき、学習でも知識の習得が遅れていき持っている力が失われていきます。**寝る前に準備を行い、家に出る前に再度確認し、忘れ物がないようにしましょう。**

2つ目はコロナ対策における行動です。密を避けるために密着しないようにアナウンスをしたり、手洗いやその後のハンカチで手を拭くように注意喚起をしたりなどしています。しかし、休み時間に廊下やトイレで密集してくっついていたり手をつないだり、手洗いも水で適当にしていたりハンカチを持たずにその場で手を振って水を飛ばしたりなどの状況が見られます。お互いに困らないようにするためにも、今は我慢の時です。**休み時間も含め密着をやめ、配膳時などの会話をしない、手洗いを丁寧にすることやハンカチを必ず使って手を拭くなどしましょう。**

3つ目は掃除の時間です。本校では集中して清掃に取り組む「集中清掃」を実施しております。しかし、残念ながら清掃時間に各クラスの様子を見に行くと、おしゃべりがメインになっている人が多く見受けられます。集中してスポーツをする、集中して勉強する、集中して話を聞くなど、何かに集中するときは必然的に「無言」になると思います。清掃も集中して行えば、「無言」になるはずですが。**おしゃべりに集中するのではなく、清掃に集中しましょう。**

○ 生徒に向けて

様々な節目にこの言葉を思い出してもらえたらと思います。(能楽の世阿弥の花鏡の一部抜粋)

初心忘るべからず